静岡県議会議員

中沢公彦

県政報告書 VOL. 29

令和３年新春号

ごあいさつ

令和３年を迎え、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。昨年から続くコロナウイルスにより、なんとも切ない年末年始となってしまい、新年を心から祝う気分になれないという方が多かったようです。かくいう私も、年末年始のごあいさつ回りも控えめとなってしまい、各種行事もすべて中止となり、プライベートでは親族が帰省することもなく、従って親族で集まって新年会もありません。ただただ、自宅で活動自粛という生活を余儀なくすることになってしまいました。

日常生活・経済活動に大変な支障をきたしたコロナウイルスに今年は何としても打ち克たなくてはなりません。そのためには、政治・行政が可能な限りの最大限の支援対策を講じ、医療・福祉体制を守り、防止対策を徹底しながら、疲弊した経済における企業や業界分野への支援を拡充させていくことが肝要です。また県民の皆様もお一人おひとりが感染防止対策の基本である、うがい手洗いマスクを徹底していただき、細心の注意を払いつつ行動をしていただくしかありません。

昨年は、静岡県で約１５００億円もの巨費をコロナウイルス対策に投じました。国全体では６０兆円に上ります。この未曽有の危機をどう乗り越えるか極めて重要な局面を迎えています。

我々、自民改革会議では、昨年秋からコロナウイルス対策と同時進行で令和３年度当初予算編成にむけ、県当局と協議、折衝、提言を重ねてまいりました。２３０項目の予算・事業の提言と各種事業のあり方や優先事業等の精査など多岐にわたりますが、２月定例会までに確度の高い県政発展に最大限の体制で取り組める編成を目指してまいります。

今年は、４月には県内各地でミニ統一地方選、６月には知事選、１０月には衆議院議員の任期満了を迎えます。静岡県の未来を占う１年になります。今目の前にあるコロナという不安と将来の暗然たる不安を払しょくするために全力で取り組んでまいります。

「明けない夜はない。」と信じてこの難局を乗り切るために共に日々を過ごしてまいりましょう。

令和３年度 当初予算に対する要望

川勝知事に対し、
来年度の予算・事業の要望をいたしました

項目 230 のうち、
主たる要望内容

命を守る安全な地域づくり

- 復興を推進するための地籍調査の拡大と官地内民間所有権の解消推進
- 停電対策の強化（電線切断等の支障になる立木の計画伐採等）
- 県土強靭化の更なる推進
- 防災機能を高める道路整備とルート確保
- 新型コロナウイルス感染症等新たな感染症への対応強化
- 大規模停電対策の推進
- 警察体制の強化
- 交番設置要望の早期解決

新型コロナウイルス対策

- 「地域・外来検査センター」に対する設置、運営、感染防止体制支援
- 「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者支援交付金」及び慰労金の拡充。
- 感染者の受入有無を問わない逼迫した病院経営の支援
- 空床補償の充実
- 介護福祉士・保育士への慰労金支援
- 観光産業の感染防止対策への取組支援
- 飲食・宿泊業等へのPCR 検査等の感染症検査費用への支援
- クラスター回避のための県民に対する適切な情報発信
- 農林水産物販売促進緊急対策事業の継続
- 収束を見据えた消費喚起や産業振興等の経済活性化策について早期の準備
- コロナ禍における公共工事確保による地域経済の後押し
- 若者の就学支援及び県内への就職支援（非常時）
- 製造業におけるテレワーク、IoTの総合的補助制度の創設（非常時）

安心して暮らせる医療・福祉の充実

- ドクターヘリの出動負荷に応じた支援体制強化
- 放課後等デイサービスの充実

子どもが健やかに学び育つ社会の形成

- 保育施設環境の改善
- 保育利用時間の長期化に対応した職員配置
- 乳幼児保育事業の充実及び4,5歳児の職員数改善
- 特別支援学校に関する国の新たな設置基準等を見据えた予算確保への対応

誰もが活躍できる社会の実現

- 障害者就労・雇用支援
- 障害者の法定雇用率の達成に向けた支援

富をつくる産業の展開

- 中小・小規模企業への経営革新等支援の充実
- 基盤整備事業の充実強化
- 農地中間管理事業の推進
- 水産業振興のための支援強化
- 資源管理・漁業経営安定化事業の継続と充実

令和2年度 12月補正予算案の概要 Overview

12月定例会　11月30日　～　12月21日

（単位：百万円、％）

区　分	令和２年度			令和元年度		対前年比
	補正前	12月補正A	12月現計	12月補正B	12月現計	A／B
一般会計	1,400,954	1,038	1,401,992	3,938	1,219,187	26.4
特別会計	821,806	―	821,806	65	828,673	皆減
企業会計	80,115	―	80,115	40	83,789	皆減
合　計	2,302,875	1,038	2,303,913	4,043	2,131,649	25.7

項目	予算額	主な内容
新型コロナウイルス感染症への対応	493	・インフルエンザ流行期に備え、PCR検査等を行う発熱等診療医療機関を支援 ・社会福祉施設への感染防止対策指導 ・子どもの居場所の感染症対策への支援 ・新しい生活様式に対応した文化芸術活動の支援 ・国内線の着陸料・停留料の一部を航空会社に支援 ・県有文化施設入館予約手続き等のデジタル化 ・新型コロナウイルス支え合い基金の積立　ほか
当初予算編成後の事情変化	612	・医師の労働時間短縮のための体制整備支援 ・病床数適正化のための病床削減への支援 ・R2. 7月の大雨で崩落した空港法面の復旧　ほか
見直し等による事業費の減額	△67	・モンゴル長期人材受入研修等の中止 ・浜名湖キューバヘミングウェイカップの延期 ・医療従事者支援交付金の執行確定による減額　ほか
計	1,038	

令和元年度予算に比べ、令和２年度予算は1,800億円以上の予算の増加となっています。
これは、新型コロナウイルス感染症防止対策に、約1,500億円の予算を投じました。

静岡県議会トピックス TOPIX

「新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等の根絶に関する決議」を議決しました

県議会では、議長の提案による「新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等の根絶に関する決議」を11月30日に議決しました。
また、その後の記者会見では、山田議長と良知副議長が誹謗中傷などを決してしないように、県民の皆様に正しい認識の下、思いやりを持って行動してほしいと呼びかけるとともに、マスコミ各社にも報道を通じた誹謗中傷等の根絶のための取組についてご協力をお願いしました。

新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金

新型コロナウイルスに打ち勝つ 静岡県民 支え合い基金 ~One for all, All for one~

静岡県では、新型コロナウイルス感染症の最前線で活躍されている方々などを支援するため、令和２年５月、県議会全員の議員立案で「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を設立しました。
医療従事者や福祉事業者への応援などに使うため、皆様から幅広く寄附を募っております。

詳細はこちらから ▶▶

首相と県連三役がオンライン会議

2020年12月13日、菅首相と静岡、愛知、三重の3県連幹部との対話集会がテレビ会議方式で開かれました。静岡市よりリモートで出席し、クラスターが発生した病院への支援強化等を求めました。

異業種交流会 公心会

コロナ対策万全のなか厳重に行いました。

中沢公彦事務所

〒435-0052　浜松市東区天王町1505-1
TEL.053-411-5551　FAX.053-411-5552
http://www.nakazawakimihiko.com